

23. 文化的景観について

(1) 「大谷の奇岩群と採石産業の文化的景観」が重要文化的景観に選定されたことの認知度

◇ 「知らなかった」が6割半ば

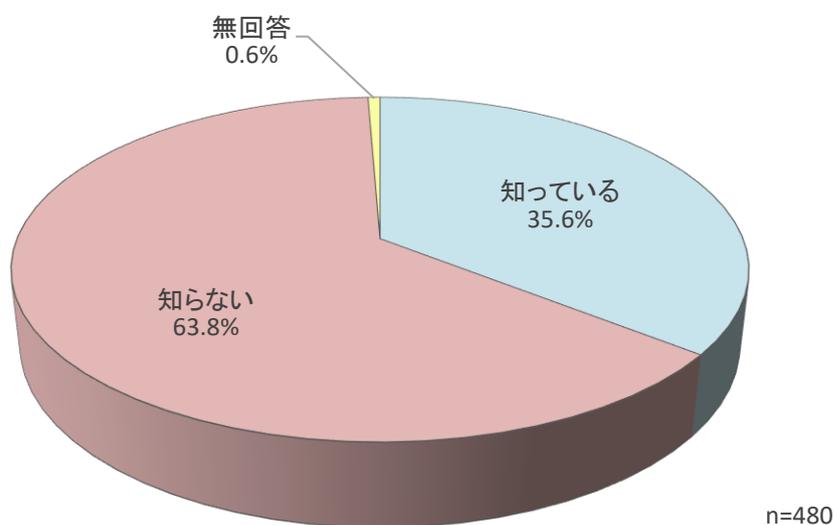
問50 令和6年に本市の「大谷の奇岩群と採石産業の文化的景観」が重要文化的景観（※）に選定されたことを知っていますか。

※ 文化財の一種で、人間と自然の相互作用によって生み出された景観のことであり、地域の特色を示す代表的なものとして国が選定したもの。 (○は1つ)

1	知っている	35.6%
2	知らない	63.8%
	(無回答)	0.6%

n=480

<図IV-23-1>全体



「大谷の奇岩群と採石産業の文化的景観」が重要文化的景観に選定されたことの認知度については、「知らない」が63.8%、一方、「知っている」は35.6%であった。(図IV-23-1)

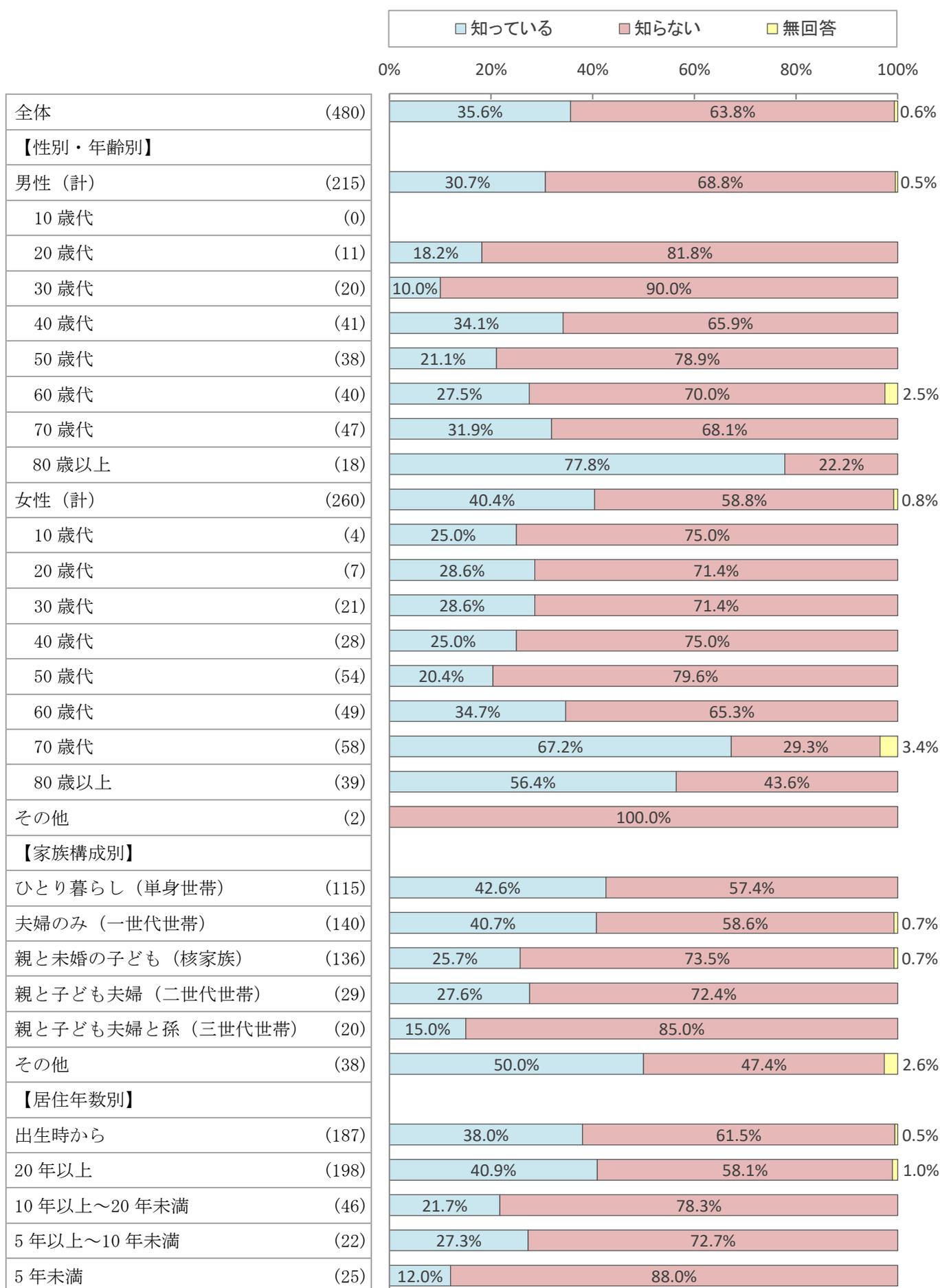
<参考>

性別・年齢別でみると、「知っている」は<男性80歳以上>が77.8%で最も高く、次いで<女性70歳代>が67.2%であった。一方、「知らない」は<その他>を除くと、<男性30歳代>が90.0%で最も高く、次いで<男性20歳代>が81.8%であった。(図IV-23-2)

家族構成別でみると、「知っている」は<その他>を除くと、<ひとり暮らし(単身世帯)>が42.6%で最も高く、次いで<夫婦のみ(一世代世帯)>が40.7%であった。一方、「知らない」は<親と子ども夫婦と孫(三世代世帯)>が85.0%で最も高く、次いで<親と未婚の子ども(核家族)>が73.5%であった。(図IV-23-2)

居住年数別でみると、「知っている」は、<20年以上>が40.9%で最も高く、次いで<出生時から>が38.0%であった。一方、「知らない」は<5年未満>が88.0%で最も高く、次いで<10年以上~20年未満>が78.3%であった。(図IV-23-2)

<図IV-23-2>性別・年齢別／家族構成別／居住年数別

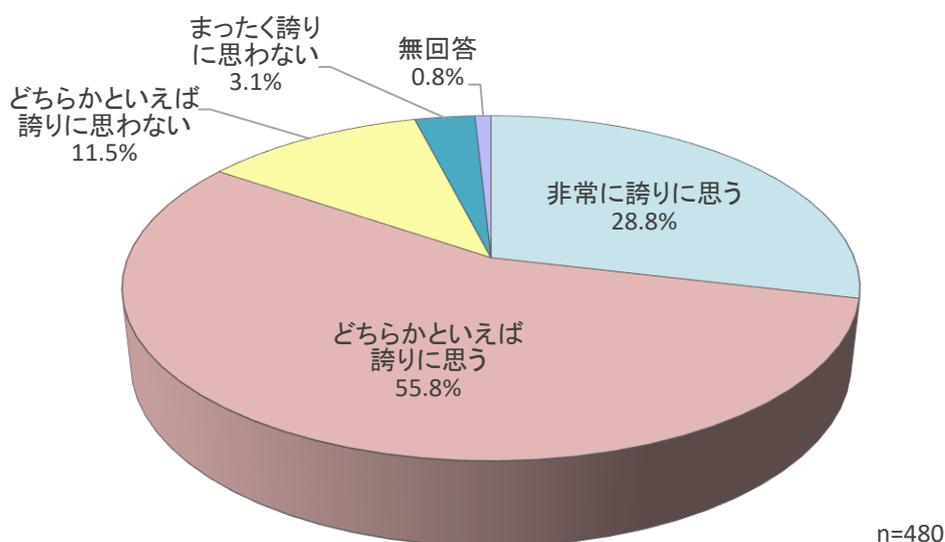


(2) 大谷の奇岩群と採石産業の文化的景観」が重要文化的景観に選定されたことを誇りに思うか

◇ 「非常に誇りに思う」と「どちらかといえば誇りに思う」を合わせた【思う(計)】が8割半ば

問5 1	「大谷の奇岩群と採石産業の文化的景観」が重要文化的景観に選定されたことを誇りに思いますか。	(○は1つ) n=480
1	非常に誇りに思う	28.8%
2	どちらかといえば誇りに思う	55.8%
3	どちらかといえば誇りに思わない	11.5%
4	まったく誇りに思わない	3.1%
	(無回答)	0.8%

<図IV-23-3>全体



「大谷の奇岩群と採石産業の文化的景観」が重要文化的景観に選定されたことを誇りに思うかについては、「非常に誇りに思う」が28.8%、「どちらかといえば誇りに思う」が55.8%で、これらを合わせた【思う(計)】は84.6%であった。一方、「どちらかといえば誇りに思わない」が11.5%、「まったく誇りに思わない」が3.1%で、これらを合わせた【思わない(計)】は14.6%であった。(図IV-23-3)

<参考>

性別・年齢別でみると、【思う(計)】は<女性10歳代>が100.0%、次いで<女性30歳代>が95.2%であった。一方、【思わない(計)】は<その他>を除くと、<男性60歳代>が32.5%で最も高く、次いで<男性50歳代>が26.3%であった。(図IV-23-4)

家族構成別でみると、【思う(計)】は<その他>を除くと、<親と子ども夫婦と孫(三世代世帯)>が95.0%で最も高く、次いで<夫婦のみ(一世代世帯)>が85.7%であった。一方、【思わない(計)】は<親と子ども夫婦(二世帯世帯)>が20.7%で最も高く、次いで<親と未婚の子ども(核家族)>が18.3%であった。(図IV-23-4)

居住年数別でみると、【思う(計)】は<5年未満>が88.0%で最も高く、次いで<10年以上~20年未満>が86.9%であった。一方、【思わない(計)】は<5年以上~10年未満>が18.2%で最も高く、次いで<20年以上>が15.6%であった。(図IV-23-4)

<図IV-23-4>性別・年齢別／家族構成別／居住年数別

